

# 和算小説家から見た『塵劫記』の魅力

鳴海 風

## 講演の概要

### 【本日お伝えしたいこと】

『塵劫記』とその類似書は、江戸時代の大ベストセラーだった(うらやましいけど)。江戸時代は、数学好きが多かった。

改訂版を出し続けた吉田光由のひたむきな努力(面白い問題の追加)、正義感(いい加減な数学は許せない)が、江戸時代の日本人の数学力を向上させた。

### 1. 『塵劫記』は江戸時代の大ベストセラー

『塵劫記』の類似書は400種類以上もあった。

江戸の人にとって「じんこうき」と言ったら、それは数学を意味していた。

### 2. 吉田光由の数学に対する熱い想い

海賊版に対抗するため、数学遊戯問題を入れたり、彩色したりした。

実力のない数学の先生を懲らしめるため、答えのない問題を巻末につけた。

これが遺題継承の習慣を生んで、多くの和算家を生んだ(本日は省略)。

### 3. おまけ

講師が所有する資料(『塵劫記』の類似書や参考文献)を展示します。

拙著(サイン入り、割引価格)の販売もあります。



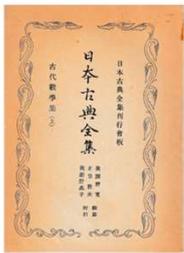
寛永8年『塵劫記』上  
京大数学教室貴重書



吉田光由が主人公の児童書。『塵劫記』で大きな改訂を生んだドラマ。

## 吉田光由著『塵劫記』成立順の通説

[大形本]



与謝野寛・晶子ら編集  
昭和2年発行 非売品

古代数学集

①寛永四年, 4巻26條\*本(初印本)

問題追加 \*條とは設問の条項です

②刊年不詳, 5巻48條本

構成見直し

③寛永八年, 3巻48條本(色摺り)

④寛永九年, 5巻50條本, 中野板

⑤寛永十一年, 3巻48條本

初版本?

寛永四年序・跋  
でも新編塵劫記  
の記載あり

大きな改訂

遊戯的な問題が追加  
色刷ページもあり



初版本などの  
内容の解説書

[小形本]

⑥寛永十一年, 4巻63條本

⑦寛永十八年, 3巻50條本, 安田板

遺題なし(海賊版の一つ)

『新編塵劫記』

⑧寛永十八年, 3巻70條本

有名な遺題本

『新篇塵劫記』

⑨寛永二十年, 3巻56條本, 西村板

岩波文庫



1977年発行以来売れ続けている

出典: 『木這子』(Vol.28, No.3 2003) 米澤誠(東北大学附属図書館)

※網掛けの板は東北大学で所蔵するもの



ノンフィクション。第1章で  
吉田光由の菖蒲谷隧道(ト  
ンネル)工事などを解説。

## 講師紹介

1953年新潟県生まれ。秋田高校から東北大学へ進み、機械工学を専攻。自動車部品メーカー(株)デンソーで34年勤務。その間の1992年、『円周率を計算した男』で歴史文学賞。以後、和算小説を中心に執筆。2006年日本数学会出版賞、2017年『円周率の謎を追う』が読書感想文全国コンクール課題図書。本日の講演内容は、『和算の道をひらけ!』(あかね書房)、『江戸の天才数学者』(新潮社)で楽しめる。